

(2) 予測の手法

工事による影響に係る予測手法は表3.3.12-4に、存在・供用による影響に係る予測手法は表3.3.12-5に示すとおりである。

表3.3.12-4 景観に係る予測手法（工事による影響）

影響要因の区分		予測事項	予測方法	予測地域・地点	予測対象時期等
工事による影響	土地造成（切土・盛土）	<ul style="list-style-type: none"> ・景観資源及び構成要素の変化の程度又は消滅の有無 ・主要な眺望景観の変化の程度 	対象事業計画との重ね合わせ、フォトモンタージュ法により予測する方法	景観資源・構成要素： 計画地及びその周辺 主要な景観： 調査地点に準じる	土地造成工事等の影響が最大となる時期
	樹木の伐採				

表3.3.12-5 景観に係る予測手法（存在・供用による影響）

影響要因の区分		予測事項	予測方法	予測地域・地点	予測対象時期等
存在・供用による影響	地形改変	<ul style="list-style-type: none"> ・景観資源及び構成要素の変化の程度又は消滅の有無 ・主要な眺望景観の変化の程度 	対象事業計画との重ね合わせ、フォトモンタージュ法により予測する方法	景観資源・構成要素： 計画地及びその周辺 主要な景観： 調査地点に準じる	工事完了後
	樹木伐採後の状態				
	工作物の存在				
	緑化				

(3) 評価の手法

① 評価の内容

評価の内容は、予測の内容に準じる。

② 評価の方法

ア 環境に対する影響緩和の観点

景観に係る環境影響が実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減され、環境保全への配慮が適正になされているか評価する。

イ 環境保全のための目標等との整合の観点

佐久市景観計画を環境保全目標として、その目標との整合が図られているか否か評価する。